

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷲塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊  
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30  
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551  
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

## 2014 June 4

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”  
Return to basics Advance with intelligence

## NO.43

### 例会報告

●第2039回例会 平成26年6月4日(水)曇

●6月はロータリー親睦活動月間

●君が代

●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員  $\frac{107}{(102)}$  名中 出席78名  
出席率76.47% 修正出席率86.46%  
(5月21日分)

●ゲスト紹介

青少年交換学生 フローレント ソールホール君  
米山奨学生 マコヴニコバ ヤナ嬢  
元米山奨学生 デバコタ ジバナト君

●ニコボックス

「スロバキアからの新しい米山奨学生を紹介します。

次年度米山奨学委員会一同より。」

服部雅紀君、加藤一郎君ほか米山委員会の皆さんより  
「5月31日をもって社長を退任6月1日から名誉  
顧問として就任致しました。これからもどうぞ宜  
敷くお願い致します。」 宮下幸二郎君

「おかげ様で、安井家具は百周年を迎えることが  
出来ました。皆様に感謝を込めて思い出になる「前  
夜祭にご招待」いたします。7月2日(水)6:00~  
リエールです。皆様、お揃いでご来場下さい。」

安井隆豊君

「ゴルフ「ワンの会」にて優勝しちゃいました。同  
伴の天野さん、間地さんありがとうございました。」

内間三好君

「新穂高から西穂高岳へ行きました。帰りは上高地  
へ降り温泉とフレンチのコース夕食。あくる日は  
第68回ウェストン祭に参加しました。山は雪で  
すがいいよ夏山シーズンです。」 加藤一郎君

「今月、6月5日は結婚記念日です!!」足立吉正君  
「欠席が続きました。」 加治佐健二君  
本日のニコボックス 7件 27,000円  
累 計 209件 2,144,000円

### 服部 滋幹事報告

▽当クラブ行事予定

・6月11日(水) あじさい夜間例会、か茂免、  
18時~。

※お返事の出ていない方は、至急、事務局まで、  
お願い致します。

※ウェスティンナゴヤキャッスルでのお昼の例会  
はございません。

▽新クラブ創立のお知らせ

愛知ロータリーEクラブ

例会日 毎週水曜日0時~翌火曜日24時  
(例会更新日時 水曜日午前0時)

例会場 ウェブサイト上 <http://aichi-eclub.jp>

### 鷲塚貞長会長挨拶

“自然葬”

浄土真宗の開祖・親鸞は、「私が死んだら賀茂川  
に流し、魚に与えてほしい」と遺言し、釈迦も墓を  
望まなかったの、お墓はありません。

仏教は、墓にこだわらない宗教であることを、多  
くの人は知らされていません。

仏舎利は世界中に存在しますが、一欠片ずつ配布  
しても、物理的に量が合いませんし、何しろ墓がな  
いので、真贋のためのDNA鑑定の根拠もありません。

墓さえ望まなかった釈迦尊は、遺骨をバラバラに  
され、頼みもしない墓もどきに祭られ、さぞや迷惑  
しているのではないのでしょうか。

火葬し骨上げの時、見事な仏様ですねと、葬儀業  
者が崇め、遺族もその気になっている部位は、解剖  
学的には第二頸椎で、その歯突起を上にして置くと、  
仏の坐像のような形に見ようと努力すれば、そのよ  
うに見え無いことはありません。

## 手話雑感



会員 棚 橋 秀 行

人類最初のコミュニケーション手段は、指差しであったと考える。

音声言語をまだ持たない、はるか遠い我らの祖先は指差しで、意思の疎通をはかったとすることは、それほど荒唐無稽なことではないだろう。

自分を指差し、相手を指差し、獲物をゆびさせば、二人で獲物をとろうとなったのだろう。

相手を指差し、右を指差せば、おまえは右だ。

自分を指差し、左を指差せば、おれは左だ。になったのだろう。

相手を指差し、木の実を指差せば、おまえ、木の上の実を取れになったのだろう。

この人差し指一本の伝達方法を、言語とするに異論を唱えるむきがあるだろうが、少なくとも手話の源流はそこにあると考える。

人差し指一本が、二本の指、片手、両手と、1滴1滴の湧き水が、気の遠くなるほどの長い時間をかけて、やがて大河になるごとく、この最初の一本指の指差しが、長い時間、伏流となって、現代の手話の大河に連なっていったのではないだろうか。

一番はじめに生まれた言語、それは手話（指差し）といえないだろうか。

初期の段階に生まれたであろうと思われる指差し（手話）は、人類が音声言語を獲得していく過程のなかで、やがて言語としての存在場所を失っていったのか。

手話が歴史に、手話として登場するのは18世紀も半ばになってからである。

欧米では、1760年、フランス人神父のド・レペが聾学校を開設したあたりが手話の始まりとされている。また彼は、手話が聞こえない人の第一言語であると主張した最初の人ともされている。

日本においての手話の歴史はもっと新しく、1878年、古川太四郎が「京都訓聾哑院」を設立したところが、手話の始まりとされている。

例会	月日	今後の予定
第2040回	6.11	あじさい例会 18:00～ か茂免 (お昼のウェスティンゴヤキャッスルの例会はごさいせん)
第2041回	6.18	在名古屋カナダ領事館領事兼 通商代表 マット・フレーザー氏
第2042回	6.25	鷺塚貞長会長

○このウィクリーは再生紙を使用しております。

しかしながら先天的に、歯突起が欠損している人もいますので、この人の第二頸椎を縦に置くと、首の無い仏様になります。

父祖代々の墓所へは、春秋の彼岸を墓参日と決めており、宮本武蔵がその庭園を設計したと、2～3度報道されたこともある、我が家の菩提寺の歴史は古く、500年前に建立された山門が、過日の阪神大震災で倒壊しました。

半年ぶりに訪れた墓所の雰囲気は一変していました。開山以来の、苔むし風化した墓石の多くが消失し、真新しいものに入れ替わっていたのです。

かつては土葬が一般的であったので、泉下の仏たちは、金さえ払えば何でもありの、どこの誰だか知らないお人の墓石を、頭の上に乗せられ、また区画変えて、頭上が通路になれば踏みつけられるなど、とても成仏などできません。

墓地権と墓石を、高額（最近の価格は、双方で最低250万円）で購入しているにもかかわらず、このような、故人の尊厳を棄損する行いは、仏教から人心が離れゆく大きな原因の一つです。

遺骨など、何の関心も持たないキリスト教では、教会の床下に聖人と称する輩の墓を作り、信者はその上を、土足で平気で踏みつけていますが、日本人の感覚では到底理解できません。

高齢社会で、墓地供給に窮した東京都が、樹木葬を公募したところ、大変な競争倍率になったそうです。

落葉樹の根元に2 mほどの穴を掘り、骨なら13万円、粉末なら7万円ほどで埋めてくれるそうで、穴が一杯になるには相当の人数になり、泉下はさぞや賑やかなことでしょう。

昨今は自然葬が急速に普及し、樹木葬もその一つですが、散骨も一時は違法性が問題になりましたが、法的には何の問題もないことが明確になり、急速に増加しています。

私の知人は、青年期はスポーツが唯一の趣味の、仕事一筋の堅物でしたが、中年に至り、経済的な余裕ができた頃より豹変し、毎夜のごとくフィリピンに入りびたり、日比親善の度が過ぎ、病を得て早世しました。

マリンスポーツを愛した故人の遺言に従い、沖縄の海に散骨しましたが、遺骨は海流に乗り、フィリピンの方角に、サーと流れ去ったそうです。

「もう一、死んでまでフィリピンに向かうとは…」、寡婦の怒ること怒ること。

なお散骨は、骨のままでは禁じられており、事件性との区別や、空中散骨により地上で人が出る可能性などから、粉末にして撒くのが原則です。

せめて死後、肥やしにでもなり、自然界に役立つのも、それなりの意味があるのかもしれませんが。